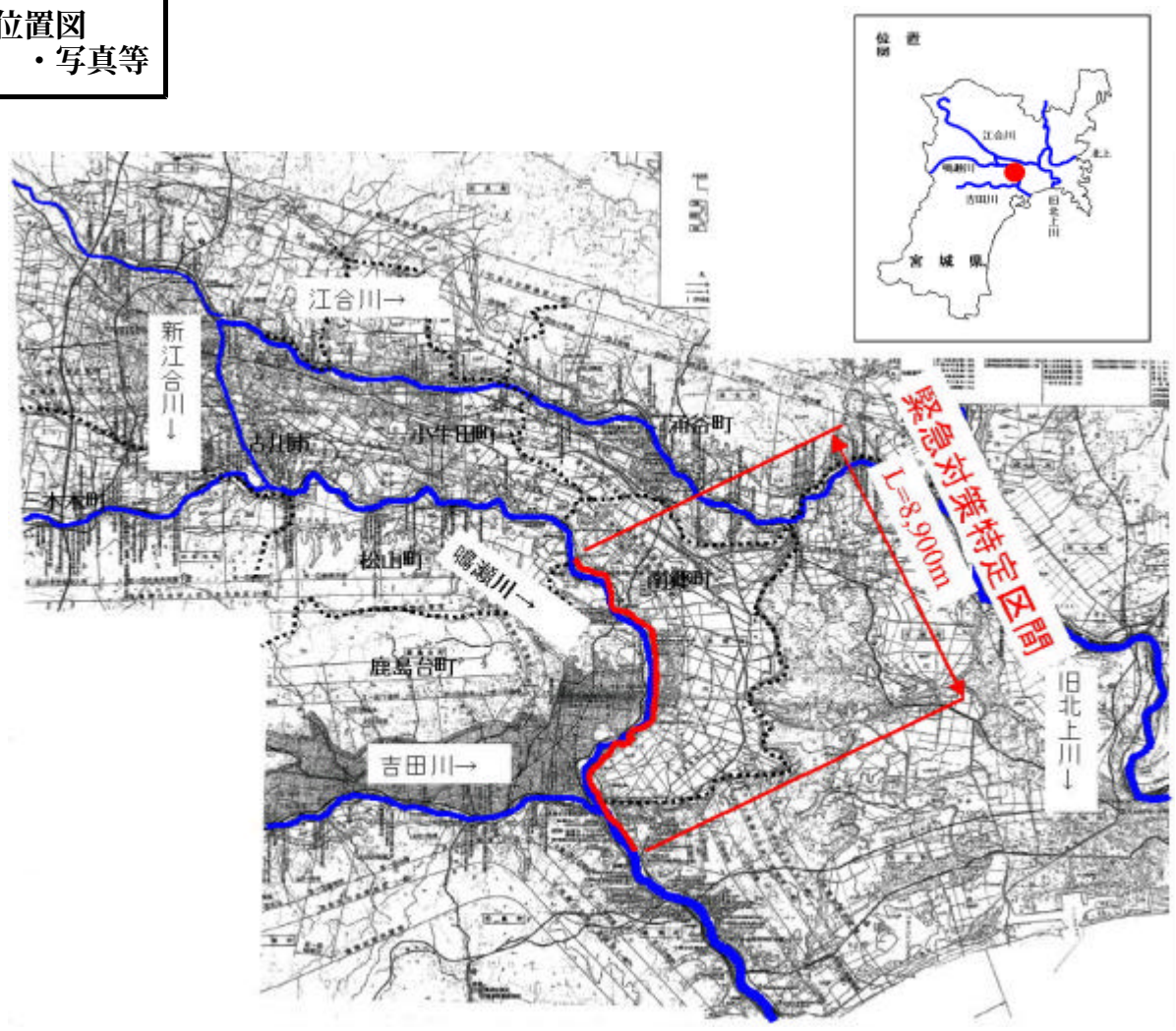
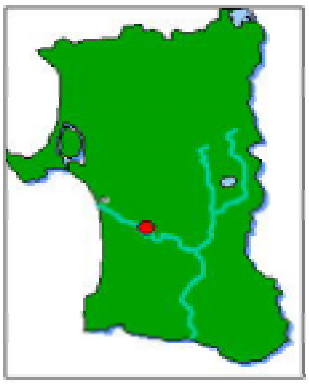
事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	**鳴瀬川中流部改修事業** **（宮城県遠田郡南郷町他）【平成15年度新規】**
目標・効果 事 業 概 要	**昭和２５年洪水と同規模の洪水が発生した場合、鳴瀬川からの氾濫が解消されます** 宮城県北部低平地域を流下する旧北上川・江合川、鳴瀬川流域の治水安全度の向上を図るためには、現在実施中の旧北上川分流施設の整備による北上川から旧北上川へのゼロ分派の早期実現に加え、鳴瀬川の河道整備を推進し、新江合川による分派量の増大を図ることが必要となっています。 このため、鳴瀬川における河道掘削実施の前処理として河道安定と取水位の確保を図るべく、これまで鳴瀬堰、鳴瀬川中流堰、桑折江堰の整備を行ってきています。平成１５年度からは、鳴瀬川中流部の改修事業に着手し、中流部の河道掘削を集中的・効率的に行い流下能力の増大を図るほか、左岸部の弱小堤の強化等もあわせて実施し、鳴瀬川、旧北上川、江合川の治水安全度の向上によって宮城県北部低平地域の発展を促進させる社会経済基盤の形成を図るものです。 ＜事業内容＞　全体事業費　約１１４億円、事業期間　H15～H20 河道掘削V=790千m3、築堤L=8,900m
位置図 ・写真等	

事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	**雄物川中流部改修事業** **（秋田県仙北郡西仙北町、協和町）【平成15年度新規】**
目標・効果 **事 業 概 要**	**昭和６２年８月洪水と同規模の洪水が発生した場合、雄物川からの氾濫が解消されます。** 雄物川中流地区は、約２０ｋｍにわたり無堤であるため、他地区に比べても著しく治水安全度が低い状況にあります。 また、一連区間の延長が長く連続堤防の整備には長時間を要することが見込まれたため、一集落戸数が最も多い強首地区については、輪中堤により集落を緊急的に防御しています。（平成１４年度完成） 今後は、水害常襲地域である雄物川中地区の残された集落及び生活の基盤となっている農地の治水安全度を段階的に確保するため、平成１５年度より短期集中的に雄物川中流部改修事業を新規に着手し、昭和６２年８月洪水（戦後第２位の出水）規模洪水からの浸水被害を軽減します。 ＜事業内容＞　全体事業費　約１１０億円、事業期間　H15～H20 築堤L=10,200m
位置図 **・写真等**	



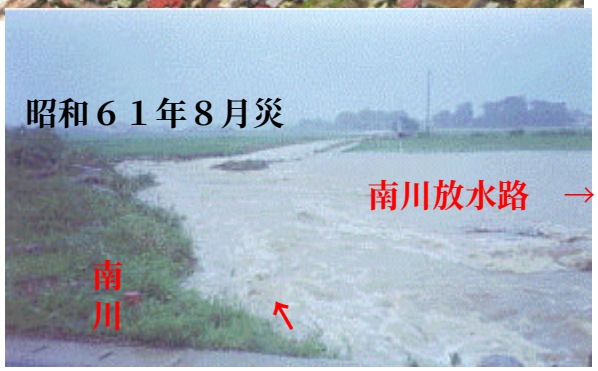


事業区分：河川、補助事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事業名	南川広域基幹河川改修事業（福島県郡山市）　【継続】
目標・効果 事業概要	**水害のない安全な川をめざして、河川改修事業を進めています** 郡山市の市街地を貫流し、阿武隈川に合流する南川は、川幅が狭く流下能力が低いため慢性的な洪水被害を受けています。 昭和６１年度より南川放水路として事業着手し、下流では平成５年度より郡山市が都市基盤河川改修事業に着手しており上下流一体となった河川改修を進めております。 平成１５年度より緊急対策特定区間として、放水路を平成１７年度までに概成し、平成１９年までに概成を図るため現在鋭意事業を進めています。
事業効果	





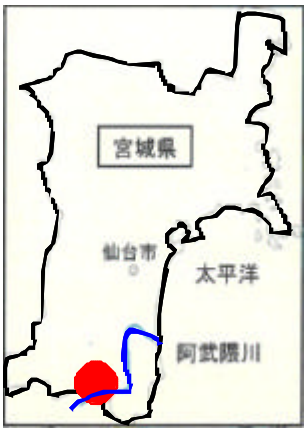


その他の緊急対策特定区間（補助河川事業）

事業主体	県名	河川名	箇所名	市町村名	完了目標年	事業概要
青森県	青森	田名部川	田名部川	むつ市	H18	小川放水路の完成
岩手県	岩手		津軽石川	宮古市	H17	宮古湾奥の津軽石川水門の完成
宮城県	宮城	砂押川	砂押川	多賀城市 利府町	H18	遊水地と下流河道掘削の完成
秋田県	秋田	横手川	横手川	横手市	H17	本郷橋下流60～愛宕大橋間河道幅の完成
山形県	山形	須川	竜山川	山形市	H18	元木工区の河道拡幅の完成

事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

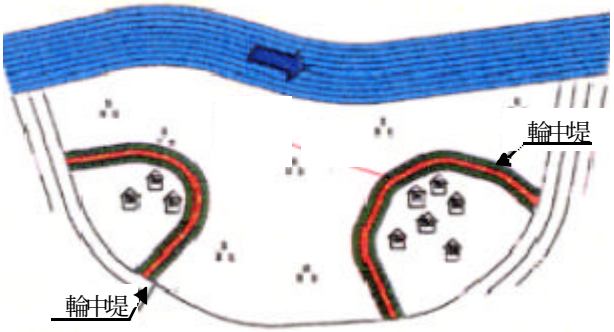
事　業　名	**阿武隈川水防災対策特定河川事業（丸森・梁川地区）** **（宮城県伊具郡丸森町、福島県伊達郡梁川町）【平成１５年度新規】**
目標・効果 事 業 概 要	**早期に安全度を向上させ、浸水被害の軽減を図ります** 福島県と宮城県の県境に位置する阿武隈川狭窄部では、近年、昭和６１年８月、平成１０年８月、平成１４年７月の洪水で沿川の家屋において、床上浸水を含む浸水被害が生じており、早急な対策が必要となっています。 しかし、当該地区は狭窄部であることから、従来方式（連続堤防）による改修では潰れ地が多くなることや長時間を要するなどの課題があります。 そのため、土地利用状況に応じて早急に水害防御を図る観点から平成１５年度より、水防災対策特定河川事業として、輪中堤及び宅地嵩上げによる治水対策を新規に着手し、早期に被害の軽減を図るものです。 ＜事業内容＞　全体事業費　６０億円、事業期間　Ｈ１５～Ｈ２０ 輪中堤180千㎥3等
位置図 ・写真等	



平成14年7月洪水状況



整備イメージ



平成１４年７月洪水状況



事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	**高瀬川平沼地区改修事業（青森県上北郡六ヶ所村）** **【平成１５年度概成】**
目標・効果 事 業 概 要	**チリ地震規模の津波から高潮被害を解消します** 高瀬川の河川改修事業は、青森県六ヶ所村平沼地区を高潮（津波）から防御する目的で高潮堤が計画されています。 当該地は無堤部であったため、過去の地震津波で被害を受けており、当面、チリ地震（１９６０年）津波対応高（T.P.２．５m）で施工しています。 平成１５年度には、築堤により一連概成させ、暫定的な効果としてチリ地震規模の津波（T.P.２．５m）による被害を解消します。 ＜事業内容＞ 築堤　Ｌ＝１，６００m 平成１５年度は、築堤L=１５０mにより一連概成させます。
位置図 ・写真等	



事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

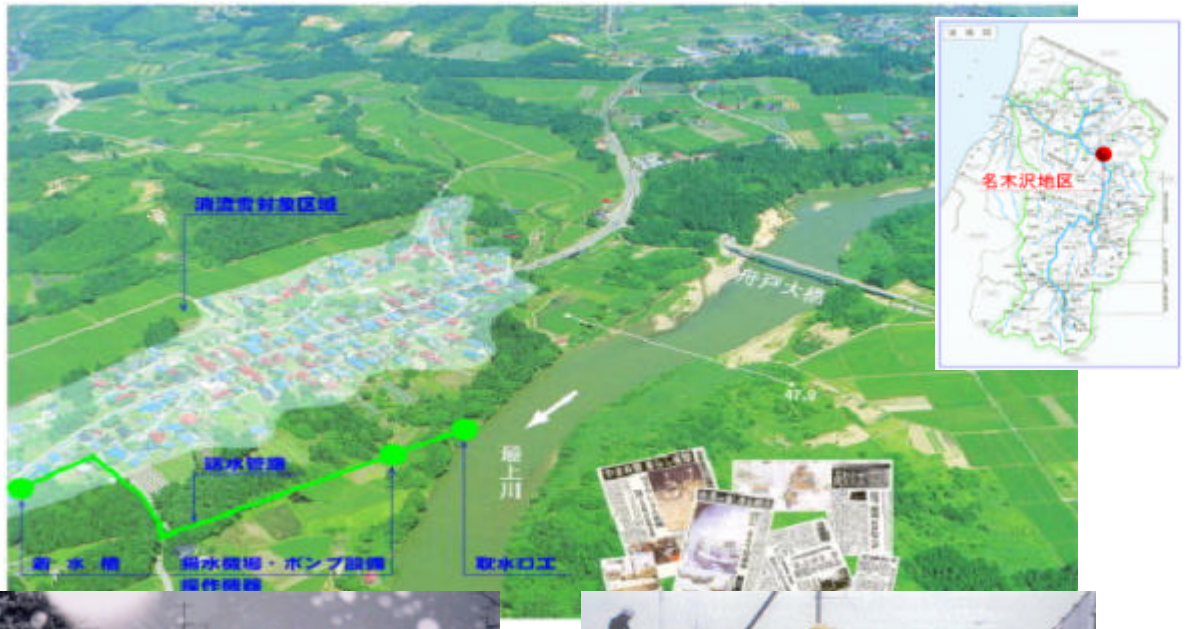
事　業　名	北上川下流橋浦地区改修事業 （宮城県桃生郡北上町）　【平成１５年度概成】
目標・効果 事業概要	**下流の洪水被害を軽減します** 北上川下流では、戦後最大流量（６，５００㎥/s）を当面の目標流量としています。特に上流部において流下能力を満足していない状況（現況３，０００～６，０００㎥/s)となっています。 流下能力不足を解消するために上流から下流部まで一連で整備していく必要があり、まず下流部（当該地区）での流下能力を向上させることが急務です。 当該地区では、流下断面はほぼ満足しているものの、弱小堤となっていることから、堤防強化を進めており、平成１５年度には一連概成します。 ＜事業内容＞ 築堤Ｌ＝約８，０００ｍ 平成１５年度は、築堤Ｌ＝３４０ｍにより、一連概成します。
位置図・写真等	

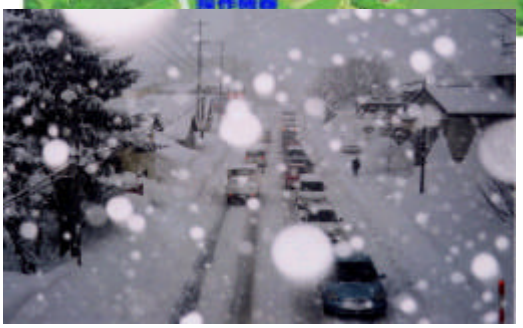


現状で想定される浸水戸数　１７８戸　→　整備後浸水戸数　０戸

事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	名木沢（なぎさわ）地区消流雪用水導入事業（山形県尾花沢（おばなざわ）市）【平成15年度新規】
目標・効果 事業概要	**市内中小河川に導水することにより除排雪作業を効率的・効果的に行い、交通障害の解消など、冬期間の生活環境を改善します** 山形県尾花沢市は、過去における最大積雪深は266㎝にも達する日本有数の豪雪地帯に位置し、特別豪雪地帯に指定されている地域であり、特に地域の重要交通網である国道１３号の交通障害が発生するなど、その対策に苦慮しています。 このようなことから「消流雪用水導入事業」の制度拡充の第１号として新規に着手し、最上川からの取水施設を整備し、市街地を流れる中小河川に通水することで除雪作業を効率的・効果的に行い、地域の活性化に資するものです。 ＜事業内容＞　全体事業費　約９億円、事業期間　H15～H18 計画導水量３㎥/s、取水施設、排水機場
位置図 ・写真等	・受益面積　　約１６ha　・受益人口　約６７０人





車両通行状況（国道１３号）



片側交通規制をかけた道路除雪状況

[消流雪用水導入事業の制度拡充について]
都市部でない場合でも、積雪深が大きく積雪日数が多い地域について事業が実施出来るように採択基準を見直しました。

従来基準
1．豪雪地帯
（豪雪地帯対策特別措置法）
2．人口密度40人/ha及び５千人以上の市街地

⇨

新基準
1．豪雪地帯の場合、人口密度40人/ha及び５千人以上の市街地
2．特別豪雪地帯の場合、人口密度40人/ha及び積雪指数が６千以上の市街地

事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	**摺上川（すりかみがわ）ダム建設事業（福島県福島（ふくしま）市）**
事　業　概　要	**阿武隈川水系摺上川に昭和５７年度実施計画調査、昭和６０年度より建設事業を進めてきたもので、平成１４年７月に堤体盛立完了、１２月に洪水吐コンクリート打設を完了しています。平成１５年度は、ダム付属施設・管理庁舎等の管理設備を完成するとともに、付替道路を概成します。** **また、**ダム効果の早期発現を図るために工事工程を見直し（平成16年春に試験湛水を開始する予定）、完成年度を現計画より１年早め、平成17年度完成を目指します。 ● 総事業費：1,955億円、完成工期：平成18年度 **（平成10年２月23日：基本計画変更告示）** 事業進捗率（平成15年度末）：96.6%

位置図・写真等

阿武隈川の浸水被害の軽減を図ります
○ダム地点で820㎥/sの洪水調節により、ダム下流の浸水被害の軽減を図ります。

既得用水の安定化及び河川環境の保全等のための流量を確保します
○ダム直下で1.5㎥/s、西根下堰で2.1㎥/s、瀬ノ上で2.8㎥/sを安定的に確保することにより、既得取水の安定化及び河川環境等の保全を図ります。

安定した農業用水を供給します
○阿武隈川及び摺上川沿岸の約4,200haの農地に対して、安定したかんがい用水の補給を行います。

堤体盛立完了（平成14年7月）　＜下流から見たダム堤体＞



安定した水道用水を供給します
○福島地方水道用水供給企業団（１市11町）に対して、１日最大249,000㎥の水道用水を供給します。

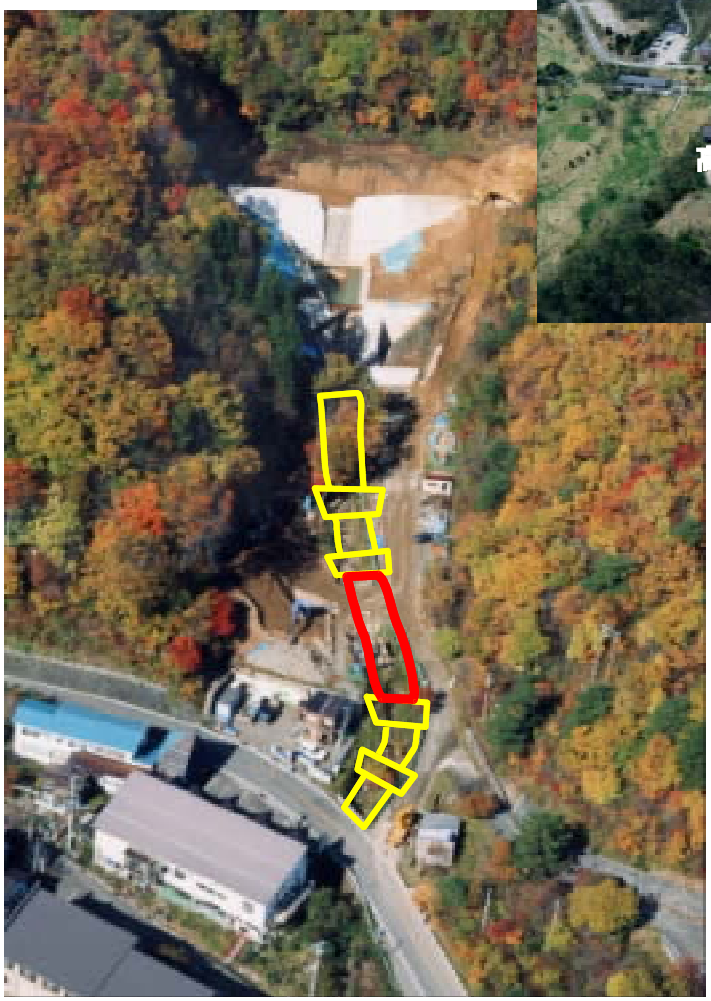
工業用水を供給します
○福島県に対して、１日最大10,000㎥の工業用水を供給します。

環境負荷の少ない水力発電を行います
○摺上川発電所（東北電力㈱）において、最大出力3,000kwの発電を行います。

事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	**阿武隈川水系直轄砂防事業高湯第1砂防堰堤（福島県福島市）** **（平成１５年度完成）**
事業概要	阿武隈川水系須川流域の中腹にある高湯温泉地区を流れる目洗川は土石流危険渓流であり、地元住民はもとより温泉等利用客を土砂災害から守る施設として、砂防堰堤並びに導流工の整備を進めており、平成１５年度に完成する予定です。 ＜事業内容＞　全体事業費 1,400百万円、事業期間 H1～H15 砂防堰堤（堤高１３m）　１基、導流工　１１０m
位置図・写真等	高湯温泉地区の土砂災害の防止･被害の軽減を図ります。





H14施工
H15施工

事業区分：河川、補助事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

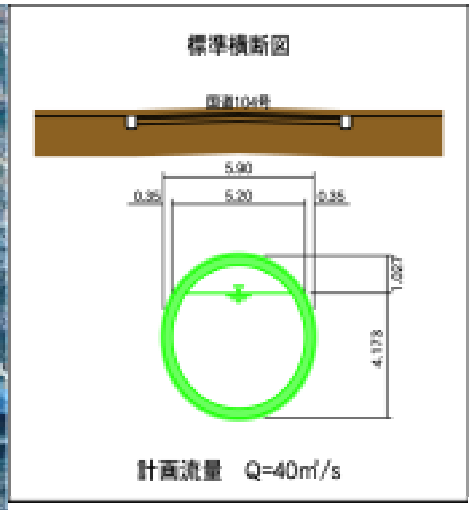
事　業　名	**土橋川（つちはしがわ）床上浸水対策特別緊急事業（青森県八戸（はちのへ）市）** **【平成１５年度新規】**
事　業　概　要	土橋川では、平成 11 年、平成 13 年に浸水被害が発生しており、また、平成 11 年から４年連続で避難勧告が発令されています。 このため、平成 13 年度より八戸市が準用河川改修事業にて改修に着手しています。 県では近年の水害の発生状況や避難勧告の発令状況、流域の重要性を考慮し、放水路区間について床上浸水対策特別緊急事業にて、早急に整備し、浸水被害の解消を図るものです。 <事業内容>　全体事業費　約５６億円、　事業期間　H15 ～ H19 放水路　L=1,420m

位置図・写真等

事業計画図



放水路標準断面図



H13 浸水被害状況



事業効果

